

令和4年度 第1回函南町子ども・子育て会議議事録

日 時 令和4年12月16日（金）
場 所 函南町役場4階 特別会議室
開 会 午後7時～

出席委員 14名

野田哲郎委員、山田信昭委員、西川真澄委員、南貴代委員、畠山浩太郎委員、
川口朋子委員、八木戸一重委員、杉原波絵委員、杉山恵子委員、田中千佳子委員、
長谷川園枝委員、芹澤恵美委員、中村麻千子委員、久保田浩子委員

事務局

厚生部長 大沼裕幸、子育て支援課課長 渡邊卓司、課長補佐 大川文和、係長 今井
亨英、主査 竹内綾子、主査 室伏さやか、主事 長澤美沙

1. 開会

2. あいさつ 厚生部長 大沼 裕幸

3. 議事

(1) 「第2期函南町子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しについて

(議長) 議事(1)について事務局からの説明を求めます。
事務局お願いします。

(事務局) 内容を説明（別紙資料1のとおり）

(議長) 事務局の説明が終わりましたので、質疑のある方は挙手をお願い
いたします。

(委員) 来年度の保育園・幼稚園の申請状況を教えてください。

(事務局) 現時点で幼稚園107件、年間預かり保育69件、保育園は新規と継
続合わせて668件お受けしています。

(委員) 資料1の2、3ページに関連する部分で、幼稚園の利用希望が中
間見直しにおいて保育料無償化の影響により大幅に見直しされてい
る一方で、保育園の方があまり変わらなかった理由は何か考えられ
ますか。

(事務局) 保育園については、令和4年度以降が見込んでいた整備計画の違
いもあり、中間見直しにおいて大きく変更している部分になります。
令和4年度までの実績を見た限り、2号認定の中間見直し変更後
において、令和2年から令和4年まで推移し、令和5年度に施設整備
が入りますので増加しています。それ以降については、少子化の影
響もあり若干減少傾向ではないかと予想しています。

(委員) 同様の質問ですが、(資料3ページ③) 保育所の中間見直し変更後

の量の見込みが令和4年度から令和5年度にかけて減少し、令和5年度から令和6年度にかけて増加している理由が何か考えられますか。

(事務局) 人口推計をとっておりまして、その中で令和5年度は若干少なくなっている現状があります。これは年によって増減があります。

(委員) 民間保育所を令和5年度に増設する影響はないのですか。

(事務局) 令和5年度から量の見込みの中の確保方策のところは、60人規模の保育所新設を加味しています。当初は令和4年度から数が増える予定でしたが、計画が遅れた影響で令和5年度以降に加味しています。なお、量の見込みについては、皆さんが応募・申請する人数になります。確保方策については、定員（町が許容できる人数）を表しています。

(議長) 他にご意見はありますでしょうか。それでは次の議事に移ります。

(2) はなみずき保育園の特定教育・保育施設の確認について

(議長) 議事(2)について事務局からの説明を求めます。

事務局お願いします。

(事務局) 内容説明

(議長) 説明につきましてご意見伺いたいと思います。いかがでしょうか？特に無いようでしたら、ご賛同いただける方は挙手をお願いいたします。

(委員一同) 全員挙手

(議長) 全員挙手により、事務局の説明通り承認されました。

- ## 4 報告
- (1) 函南さくら保育園の定員変更について
 - (2) 西部保育園、二葉こども園の給食調理業務外部委託について
 - (3) 留守家庭児童保育所の運営について

(事務局) 報告3件について事務局から説明

(議長) 報告について意見・質問はございますか。

(委員) コロナの影響もあり、学童保育に限らず、先生方の負担がかなり大きくなっているかと思います。すべての施設において、余裕を持った人員整備をしていただけるとありがたいです。

(事務局) 大変貴重なご意見ありがとうございます。人員配置については、外部委託も含めて今後検討していきたいと思います。

(委員) 学童保育の指導員の報酬はどこの予算から支出していますか。留守家庭児童保育所の運営について、子ども・子育て会議の議案として挙がらないという捉えでよかったですか。

(事務局) 子育て支援課の予算から支出しています。学童保育の方向性も含めた形で改めてご報告させていただくか、議事にするかを判断したいと思います。

(事務局) 2点目の報告の中で、安全・安心の給食を継続的に提供できることが一番の目的であることをご理解いただきたいと思います。町の栄養士を置いて、衛生管理や安全管理をしっかり行い、保護者の方に負担のないよう進めていきたいと考えています。

(事務局) 学童については最終的にこういった形でやっていくかまだ決定していませんが、指導員の方と話し合いを重ねて理解していただいた上で進めていきたいです。

(委員) 待機児童解消の見通しはどのように考えていますか。

(事務局) 短期的には保育需要は増加傾向ですが、長期的にみると少子化の影響で減少傾向になり、函南町も当てはまってくるかと思います。すべての歳児で待機児童が発生しているわけではないので、歳児ごとに状況を考えていくべきだと考えています。

(事務局) 保育需要にどう応えていくかを幼稚園も含めて今後のあり方を考えていく必要があると考えています。

(議長) ご質問は何かございませんか。特になければその他に移ります。

5 その他

(教育長) 丹那小学校の小規模特任校制度について

(事務局) 裾野市の不適切な保育について

6 閉会

午後8時10分閉会